

生涯を通じて、誰もが健康でいきいきと暮らすことができ、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく生活を営むことができます。

方針7 健康でいきいきと共に支え合うまちづくり

成果指標

指 標	直近の現状値	目標値(令和5年度)
地域包括ケアシステム※の認知度	21.2% (令和元年度)	50%
週1日以上運動・スポーツ※をする人の割合	70.1% (令和元年度)	75%

※地域包括ケアシステム：高齢者ができる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・福祉が連携して必要とされるサービスを一体となって切れ目なく提供していく仕組み
 ※運動・スポーツ：ウォーキング(散歩、一駅歩きなど)や階段昇降等を含む

施策 19 「地域包括ケアシステム」の普及・啓発を進めます

地域包括ケアの推進

福祉課

出前講座や講演会、若年層に向けた認知症サポーター養成講座を開催するとともに、各学区の会議に参加し、地域の声を地域診断の取り組みに反映させます。また、各種広報媒体を活用した広報を実施します。

～つながる医療・介護・福祉の輪～
みずほフェスタ'20

福祉課

保健センター 区社会福祉協議会

区役所をはじめ医療・福祉関係者が協働して企画、運営し、講演会やシンポジウム、各種講座を実施するイベントを開催します。



みずほっぺあんしん情報ツールの配付

福祉課

医療情報等を記載したシートと利用案内が入ったケースを、65歳以上のひとり暮らし高齢者及び75歳以上の高齢者のみ世帯に配付するとともに、配付済世帯に対して情報の更新についての案内を行います。



施策 20 障害を理解し、お互いに助け合う地域づくりをめざします

障害を理解し、お互いに助け合う
地域づくりの推進

福祉課

瑞穂区障害者自立支援連絡協議会等と連携し、講演会等の実施や若年層に向けた福祉教育として小・中学生に対して視覚障害・聴覚障害の体験や車椅子の体験を行います。

新

いっしょに楽しもう!

地域力推進室 民生子ども課

さくらスポーツフェスタ

福祉課

再掲(3ページ参照)



基金

新

災害時要配慮者支援用バンダナ

総務課

(仮称)の作成(岐阜県瑞穂市との交流)

福祉課

再掲(3ページ参照)



施策

21

ちょっとした困りごと支援を拡充します

ご近所での見守り・支えあい活動の推進

区社会福祉協議会

地域支えあいマップづくりを通して高齢者等を見守るふれあいネットワーク活動を推進するとともにマップづくりに取り組む町内数を増やします。また地域支えあい事業の実施学区を増やし、高齢者等の個別支援活動の充実を図ります。



施策

22

孤立させないつながりづくりを進めます

老人クラブの支援

福祉課

広報なごやへの掲載やチラシの配布による活動のPR、加入相談を行うなどの支援を行うとともに、瑞穂区老人クラブ連合会の愛称である「なごやかクラブ瑞穂」の普及を図ります。

福祉会館事業

区社会福祉協議会

趣味や各種講座の開催、介護予防事業・入浴サービス等を実施します。また、児童館との共催で、子どもと高齢者との交流事業を行います。

新

おでかけ応援

区社会福祉協議会

ボランティア活動の実施

高齢者や障害者など一人での外出が困難な方や不安な方の外出に付き添うなどの活動を実施するとともに、ボランティアを養成し活動する人を増やすことで活動の拡充につとめます。



施策

23

健康づくり活動を支援します

みずほ体操の普及と健康ささえ隊の活動支援

保健センター

「みずほ体操」の周知や、区内の健康づくり会場で活動する「健康ささえ隊」の活動を支援します。



みずほ体操
健康ささえ隊

健康づくり事業・介護予防事業の実施

保健センター

保健師等が高齢者サロンなど区民の集いの場に出向き、健康講話や健康相談を行います。

医療情報カードの配付

保険年金課

休日・夜間に受診可能な医療機関の情報が掲載された瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」イラスト入りのカードを医療証とともに配付します。

区民アンケートでいただいたご意見

高齢者も社会に参加できる瑞穂区であってほしい。

高齢者も障害者も老若男女にかかわらず助け合いながら、暮らせるまちにしてほしい。

